

科目名	経済データ解析論	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）
			経済学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Economic Data Analytic	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
ふりがな	やまもと しゅん	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	山本 俊	修得単位	2単位
授業のテーマ	経済データの中に隠されている傾向や一般法則を見つける方法とその記述方法を中心に学習する。		
授業概要	経済理論を理解し、試験問題を解けたとしても、自らが直面する問題の解決手段にはならない。何故なら、それは現実を定量的に捉えることができないため、現実理論をあてはめることができないためである。		
到達目標	①現実と経済理論を結びつけ、経済学を使いこなせるようにすること。 ②経済学で多用されている様々な関数を推計し、学習した経済理論を活用できるようにすること。		
授業時間外の学習	定期的に確認問題を配布するので、解答した後に提出して欲しい。		
履修条件	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱとマクロ経済学Ⅰ・Ⅱを履修済みか、または同時履修して欲しい。		
授業計画	講義資料と教科書を併用して授業を進める。		
第1回	テーマ：ガイダンス 自分だけが頼り。職場で頼れる能力とスキル。		
第2回	テーマ：データのまとめ方① 統計データの種類と集計方法		
第3回	テーマ：データのまとめ方② 記述統計表の作成。中心化傾向を捉える統計量。算術平均と加重平均。		
第4回	テーマ：データのまとめ方③ 記述統計表の作成。バラツキを捉える統計量。		
第5回	テーマ：データのまとめ方④ 様々な統計量。変化率、幾何平均、標準化変量、相関係数。		
第6回	テーマ：ヒストグラムの作成① 度数分布表の描画！！		
第7回	テーマ：ヒストグラムの作成② 相対度数分布表の描画から正規分布へ、		
第8回	テーマ：正規分布表の特徴とその利用① 点推定。		
第9回	テーマ：正規分布表の特徴とその利用② 区間推定。		
第10回	テーマ：単回帰分析① 強力な分析力。答えはデータの中にある。		
第11回	テーマ：単回帰分析② 最小二乗法（OLS）のアイデアと正規方程式。		
第12回	テーマ：単回帰分析③ 相関係数、決定係数、直線以外の推計式		
第13回	テーマ：重回帰分析① 決定係数の修正と多重共線性問題		
第14回	テーマ：重回帰分析② 傾向の析出、代理変数の作成方法、ダミー変数		
第15回	テーマ：実践演習 消費関数の推定と乗数効果。少子高齢化の要因分析。		
第16回	定期試験		
テキスト	伊藤 公一郎『データ分析の力 因果関係に迫る思考法』光文社新書、2017年		
参考文献・資料	白砂堤津耶『初歩から学ぶ計量経済学』日本評論社、2009年（例題を解きながら理解できる教科書）		
成績評価の方法	期末試験60%、課題30%、コメントシート10%の合計を基に評価する。 確認問題を配布する。受講者は自らの理解度を確認するためにも必ず解答すること。 試験については努力が報われるような出題を心がける。		
成績評価基準	【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） 【平成28年度（2016）以降入学した学生】 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		

オフィスアワー	月・水・金曜日の5限をオフィスアワーとする。ただし、研究室に在室中は原則として質問に応じる。
学生へのメッセージ	授業は電算室での実習形式である。考え方とスキルをバランスよく身に着けるためにも、課題を丁寧にこなすこと。そうすれば、頼りがいのある自分に大きく近づけるでしょう。